

こころの教室だより

平成29年 2月号

心の教室相談員 江部 弥生

相談室を訪れることが多い学年は、相談室から一番近い4年生。次は3年生です。でも、1月に入ってから、相談室に1・2年生の子どもたちが遊びに来ることが多くなりました。子どもたちの目的は『めいず』といわれる迷路です。

『めいず』とは、スタートからゴールまでひたすら進めていくと、絵が浮き出てくるというもの。普通の迷路と違って、一本道で迷うことはありません。ただ、くねくねと長い道をかき進めていかなくてはならないので、集中力は必要です。ゴールした時に、紙を見ると何かしらの絵になっているので、楽しいようです。全30種類を制覇してしまった子もいるくらい、ちょっとしたブームになっています。

どうやら、3・4年生の兄・姉や友だちから「おもしろい」と聞いたようで、「めいずありますか」と元気よく声をかけてくれます。

この『めいず』のおかげで「相談室に初めて来た」という子も多く、たくさんの子どもたちと話をすることができて、良い機会になったと感じています。

会話はほんの少しでも、心が苦しくなったり、聞いてほしくなったりすることがある時に、『相談室を活用する』という選択肢を思いついてくれればと思うからです。

先日、「相談って何を話せばいいの」と聞かれたので、「困ったことや、楽しかったことなど話したいことがあれば、なんでもいいのよ」と答えると「ええっ」ってびっくりしていました。どうやら、深刻ないじめなど、すごく困った時にしか利用してはいけなかったと思っていたようです。

どんな話でも、聞いてほしいと思ったことは何でも聞きます。相談室を、心がすっきりする場所にしたいと思っています。

2月のこころの教室開放日(3階相談室にて)

3(金)

7(月) 10(金)

13(月) 14(火)

20(月) 21(火) 24(金)

27(月) 28(火)

各日10時～14時

※20分・15分放課は子どもたちの相談を優先します